

令和7年度 友好都市交流事業

飛島村～南種子町

ロケットロード研修報告書



愛知県海部郡飛島村

本研修のねらい

普段の生活から離れた地域やそこに住む人々との交流を通して、自己の見聞を広げるとともに、異なる文化や社会、価値観を理解し尊重する姿勢を養う。

→自分を高める・視野を広げる。

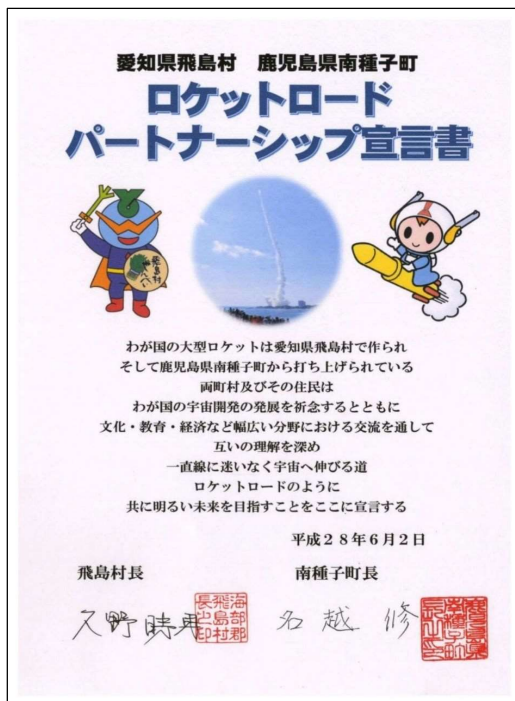
自分が住む地域と異なる地域について知るだけではなく、自分が住んでいる地域を見つめ直し、その良さを再発見させ、ふるさとを愛する心情を育む。

→飛島村のよさを再発見する。

地域にかかわる多様な体験を通して、これまで学習してきた知識を深め、自ら課題を見つけ学ぶ楽しさを味わわせる。

→学ぶ楽しさを知る。

飛島村と南種子町との関係



南種子町は、鉄砲伝来の地としての歴史ある側面をもつ一方、種子島宇宙センターを有し、歴史と未来が共存する町として知られています。

その南種子町で打ち上げられる大型ロケットは、実は飛島村で製造されています。このような関係を背景に、両町村の発展を祈念するとともに、幅広い分野における交流を通して、一直線に迷いなく宇宙へ伸びる道「ロケットロード」のように、共に明るい未来を目指すことを目的として、平成28年に友好都市関係を締結しました。

【行程表】

1日目	中央公民館 11:05	中部国際空港 12:16	鹿児島空港 13:15	種子島空港 14:50	島宿HOPE 17:05	種子島空港 17:45	島宿HOPE 17:55	島宿HOPE 18:30
-----	----------------	-----------------	----------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------

2日目	島宿HOPE 9:00	門倉岬 9:30	たねがしま 赤米館 9:55	種子島 宇宙センター 10:10	10:40	10:50	12:30
バスツアー 12:50	島宿HOPE 14:40	島宿HOPE 14:55	千座の岩屋 15:10	15:20	15:50	恵美之江 展望公園 15:55	16:05
マングローブ パーク 16:15	南種子町役場 16:20	16:45	17:15	トンミー市場 17:25	17:55	島宿HOPE 18:00	

3日目	島宿HOPE 9:00	広田遺跡 ミュージアム 9:10	11:50	田園（昼食） 12:00	13:00	種子島鉄砲館 14:10	15:35
種子島空港 16:00	島宿HOPE 16:40	17:00	18:00	田園（夕食） 18:20	19:10	島宿HOPE 19:30	

※今年度は悪天候による飛行機の欠航のため、2泊3日の予定が5泊6日へ変更になりました。

4日目	島宿HOPE 9:00	増田宇宙通信所 9:30	11:20	美の吉（昼食） 12:00	12:35	中平小学校 12:40	14:45	島宿HOPE 15:00
-----	----------------	-----------------	-------	------------------	-------	----------------	-------	-----------------

5日目	島宿HOPE 9:00	広田遺跡 ミュージアム 9:30	9:55	広田遺跡 10:10	10:40	Hanauta （昼食） 10:50	12:30
種子島 宇宙センター 12:50	14:40	カーモリの峯 14:55	15:10	竹崎漁港観望台 15:20	15:50	花峯小学校 15:55	16:05
幽霊坂 貝化地層 16:15	16:20	えびす温泉館 16:45	17:15	豊爺（夕食） 17:25	17:55	えびす温泉館 18:00	

6日目	えびす温泉館 9:30	熊野海岸 9:50	10:30	雄龍 雌龍の岩 11:00	11:15	喜志鹿埼灯台 12:05	12:18
浦田海水浴場 （昼食） 12:30	13:25	種子島港 13:55	14:47	鹿児島港 18:00	18:05	鹿児島空港 （夕食） 19:30	20:45
中部国際空港 22:00	22:30	中央公民館 23:10					

令和7年6月20日 応募説明会

友好都市交流事業への参加を希望する6年生22名と、その保護者を対象に説明会を実施しました。

参加希望者全員が参加できるわけではなく、応募審査会において合格した10名が派遣団員として選ばれます。説明会では、事業の目的、飛島村と南種子町の関係、応募方法や応募後の流れについて説明しました。参加した児童は熱心に耳を傾けていました。



令和7年7月10日 面接練習会



応募審査会に向けて、面接時の入退室の仕方や受け答えの際の姿勢などについて練習をしました。

初めての面接に戸惑う様子の児童も見られましたが、説明を受けながら繰り返し練習を重ねることで、最終的には全員が自信をもって行動できるようになりました。

令和7年7月17日 応募審査会

審査会当日は、4人または5人を1組とした集団面接を行いました。慣れない面接に緊張した様子でしたが、「どのようなことを学びたいか」「南種子町の児童とどのように交流したいか」などについて、自分の考えをしっかりと説明することができました。



【派遣団員名簿】

伊藤 葵子
梶田 陽光
早川 帆南

伊藤 友彩
加藤 沙和
吉田 智咲

伊藤 愉生
加藤 結大

岡島 拓来
小坂井 柚葵

【引率者名簿】

上田 雄介 (教育委員会生涯教育課係長)

徳永 萌 (教育委員会生涯教育課主事)

【指導教諭】

朝賀 昭仁 (飛島学園校長)

中野 理恵 (飛島学園教諭)

令和7年9月12日 第1回事前研修



調べ学習に向けた班分けとテーマ決定を行いました。飛島村と南種子町の自然・歴史・文化について、12月に実施予定の本研修に向けて、各班で調査・発表を行います。

また、南種子町の児童との交流時に着用するポロシャツの色についても、参加者全員で話し合い決定しました。

令和7年10月23日 第2回事前研修

保護者同伴で、研修日程や持ち物、その他の注意事項の説明を行いました。初めて親元を離れる児童もあり、期待と不安が入り混じる中、参加者は皆、事務局からの説明を真剣な表情で聞いていました。

令和7年12月4日 第3回事前研修

第1回事前研修で決定したテーマと班分けに基づき、学校のタブレット端末を活用してプレゼンテーションを行いました。

飛島村や南種子町について、全員が十分に調べ学習を行っており、互いに学びの多い発表となりました。



令和7年12月5日 村長表敬訪問



派遣団員 10名は加藤村長を表敬訪問し、「ロケットについて詳しく知りたい」「南種子町の自然を実際に見て、家族に伝えたい」など、それぞれの決意を述べました。

加藤村長からは、南種子町の歴史・自然・文化を学ぶことに加え、交流を通して種子島の人々の温かい歓迎や優しい人柄にも触れてほしいとお話がありました。

令和7年12月23日～28日 本研修

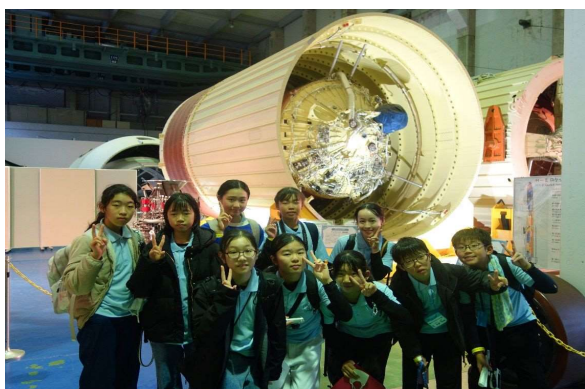
待ちに待った本研修です。1日目、2日目は予定通り研修日程が進みましたが、3日目の帰りの飛行機が強風で欠航に。2泊3日の日程が、結果的に5泊6日となりました。南種子町役場の皆さんの全面協力により、延長となった日程もとても有意義に過ごすことができ、南種子町についてより深く学ぶことができました。



島宿HOPE



千座の岩屋



種子島宇宙センター



恵美之江展望公園



南種子町役場



種子島宇宙センター

これが私の学び 研修テーマ「南種子町」

飛島学園6年生 伊藤 葵子

【門倉岬】



門倉岬は、1543年8月25日にポルトガル人から鉄砲が伝わってきた場所で、鉄砲伝来について詳しく学ぶことができる。ここでは実際に、日本で初めて鉄砲が使用された。私は門倉岬に行き、鉄砲伝来は私には直接関係がないと思っていたけど、意外と身近にあるのだと感じた。

【広田遺跡ミュージアムand交流会】



広田遺跡ミュージアムでは、広田遺跡の歴史や人骨について学んだ。広田遺跡について調べたとき約3000個の貝がらのアクセサリーが出てきたと知って私も作ってみたいなと思った。南種子町の子と、勾玉(まがたま)を作ることができてすごく楽しかった。1人の女の子と一緒にやって、その子とすごく話して仲良くなれたと思った。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

宇宙についてすごく学びたくて、この研修のオーディションに参加した。宇宙についてはロケットの模型やしくみを見て発射の仕方を学べた。種子島の歴史を見て感想に書くことができ、すごくうれしく感じた。特に門倉岬に行ってみたくて、鉄砲伝来についてよく学んだ。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い!」と思ったこと

飛島村は財政が豊かで公共施設がきれいで、年齢もはば広く使うことができ、学校もすごくキレイで学習のしやすい場所だ。飛島村は歴史的なものを増やして、種子島みたいに観光地を増やしていったらいいと思った。

これが私の学び 研修テーマ「古代と未来」

飛島学園6年生 伊藤 友彩

【広田遺跡】



広田遺跡に行って勉強になったことは、広山の子どもたちと交流したことだ。自己しょうかいをしあったが、広山の子どもたちは優しく話しやすかった。自分から声をかけ、よりコミュニケーションをとることができた。柔道を習い事でやっている子がいて違いを感じられた。遺跡の広田人は自分から頭がい骨を変えていることを聞いて、実際に見て、くっきり変わっているのを初めて知ることができたので、とても勉強になった。

【宇宙センターのバスツアー】



私は宇宙センターのバスツアーに参加して、ロケットを移動させるドーリーが気になった。ドーリーは、14×4の56個のタイヤで1台800tも運ぶことができる車だ。H3ロケットの場合、ドーリー2台を使って575tのロケットを発射場まで6時間かけて運ぶ。車1台で800tも運べるのは初めて聞いたからびっくりした。宇宙センターの近くで本物のドーリーを見たが、とても重いロケットを運ぶことを想像すると、思ったよりも小さいと感じた。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

私は応募しようと思って文章を書くときから、いろいろなことを調べた。種子島の特産品や飛島村と種子島の違いをくわしく調べ、面接をするときにも参考にした。面接はとても緊張していろいろな言葉をかんでしまったり、答えられなかったりした。だけどその場で考え、答えることができた。種子島の気候は調べてみた時よりも変化が大きく、泊まったホテルの方は冬は台風なみに風が強いとおっしゃっていた。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町と飛島村は共通点が多く、見つけるのが難しかった。その中でこの研修で見つけられたことがある。それは、南種子町は気候が変わりやすいこと。飛島村はすぐに大雨が降るわけではなく少しずつ降り始めるから、そこは違いが大きいと感じた。種子島は子供でも大人でも関係なく話していたことから、飛島村もみなさんで交流できるようなことをもっと増やして仲良くしたらいいと思った。

これが私の学び 研修テーマ「南種子町の自然や歴史」

飛島学園6年生 伊藤 愉生

【門倉岬】



門倉岬は、初めて外国の人(ポルトガル人)が来て、鉄砲伝来の場となったところだ。カメラマンさんが「本当は知られている場所じゃなくて、ひとつ向こうの岸から登ってきた」とおっしゃっていた。それを聞いて、ポルトガル人が急な岸を登ってきたのだとおどろいたし、想像することができた。門倉岬から屋久島が見えて、天気の良いと様々な景色が見られて自然にふれることができた。ただ見て知るだけでなく、想像しながら学習することができたのでよかった。

【鉄砲館】



鉄砲館では鉄砲のことだけではなく、種子島にいた動物などについても学ぶことができた。鉄砲は刀を作っていた刀かじが作っていたが、刀と鉄砲はやっぱり違って、何回も作ってはこわしてをくり返していることを知った。だから、すごく努力をして鉄砲を作っていたのだと感じた。また動物に関しては、丸木船を使って昔は漁をしていて、ウミガメを食べていたことにおどろいた。種子島にも方言があり、トビウオは「トッピー」と言っていたことも分かった。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

姉が種子島に行っていたので、姉よりくわしく調べようと思い、面接や作文をがんばってしんさ員のの人に思いが伝わるようにした。その努力が伝わったと感じ、ここまで来れたことをほこらしく思った。種子島に行ってみると、風が強かったり雨が降ったり止んだりして、自然を感じることもできた。もっと知りたいと思ったことはスタッフの方に質問をしたので、帰る時には種子島についての知識がたくさん増えたと感じた。

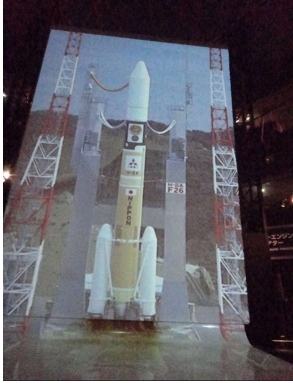
南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

種子島には特産品を使ったもの多くておみやげ屋も多いから、飛島にも飛島で作った野菜を使ったおかしなどをもっと作ったり、売ったりするのいいと思った。また、飛島の歴史が分かる施設があるといいなと思った。飛島村は公共施設も多くて、学習の場がしっかりしているといういいことがあるので、それを生かしたらいいなと思う。

これが私の学び 研修テーマ「宇宙センターで分かったこと」

飛島学園6年生 岡島 拓来

【JAXA種子島宇宙センター】



宇宙センターの打ち上げ場で打ち上げたロケットのみちびき5号は失敗して海に落ちたけど、そのロケットは回収せずに海にしずめておくということが分かった。打ち上げ場の近くにある組み立てとうで飛島からきたロケットを組み立てるということが分かった。組み立てとうは高さ67mということが分かり、とても大きいなということが分かった。

【増田宇宙通信所】



JAXAがSDGsのためにしている取り組みが分かった。例えばSDGs番号7番の「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」については、地球環境に優しいエネルギーを作りロケットに使うなど、いろいろなことにはいりよしていることが分かった。他には、高度600km地点に最も衛星が多く混雑していて、今後いろいろな高度から観測できるように研究していきたいと言っていてとてもすごいと思った。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

種子島は、宇宙を通じて世の中をもっとよりよくしていくために工夫していることが分かった。ロケットの開発を始めてから2023年まで増え続けてきた宇宙のゴミも最近では減ってきていて、宇宙センターの人やロケット開発の人たちの努力が実ったと思った。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町は自然がとても豊かで、飛島とは違う植物(マングローブ、さとうきび)などが生えていて、飛島にもあったらいいなと思った。また、海もきれいでビーチが飛島村にもあればいいなと思った。飛島村とは違い急に大雨や強風がふいたりして、自然の厳しさが身にしみた。

これが私の学び 研修テーマ「南種子町」

飛島学園6年生 梶田 陽光

【千座の岩屋】



千座の岩屋は思っていた以上に広く、自然にできた岩のもようもあり、実際に見られてとても良かった。また、外国から来たゴミがたくさんありとてもびっくりした。しかも、結構大きいゴミや形がきれいに残っているゴミばかりでびっくりしたし、すごいと思った。特にすごいと思ったことは、自然にどうくつの形ができたということ。千座の岩屋での絶景も海の波で足がびしょぬれになったことも、一生の思い出になった。

【鉄砲館】



鉄砲館で学んだことは、ほとんど知らないことだったのでとても勉強になった。例えば、銃はいろいろな種類があることや、絶めつしてしまっただウシウマがいることなどが心に残っている。その話の中でも、私の身長ぐらいの大きさの銃があり、その銃は台車で運ぶぐらい重たいことや、ウシウマは毛があまり生えておらず、顔だけかくすとウシに見えるし、人間で言う100才ぐらいまで生きるということにびっくりし、特に心に残っている。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

私は面接が初めてだったし、約20人中10人しか合格できないという不安で、とても緊張した。だけど、笑顔で元気にということを意識して、終わった時には少し自信があった。無事合格して、当日は、歴史、鉄砲、自然などをくわしく学び、とても楽しめた。また、気候が悪く、研修日数が増えたが、思い出がたくさん増えたからうれしかった。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町はいろいろな場所でロケットの模型やロゴなどを使っていて、ロケットをととても主張していて、南種子町のみりよくやロケットについてもっと知りたいと思うきっかけになった。だから飛島村にも、ねぎやほうれん草などの野菜、田畑、ロケットなどの模型を置いたり、イラストをいろいろな場所にデザインしたりして、飛島村のみりよくをもっと主張してほしい！と思った。

これが私の学び 研修テーマ「ロケットと種子島の歴史」

飛島学園6年生 加藤 沙和

【宇宙センターのバスツアー】



宇宙センターのバスツアーでは、ロケットや宇宙についてくわしく学ぶことができた。中でも特に、組み立てとうを紹介したいと思った。組み立てとうは高さが67m、横はばが25mで、およそ27階ビルと同じ高さだそうだ。組み立てとうには、世界最大の引き戸があり、ギネス世界記録に認定されているそうだ。引き戸の厚さは2.5mで、開くのに10分かかる。ロケットは2週間かけて、組み立てられるそうだ。間近で見たときのスケールの大きさに、とてもおどろいた。

【種子島の歴史】



事前に種子島の歴史について調べていたが、鉄砲館では種子島のまだ知らなかった歴史を学ぶことができた。昭和21年6月に絶滅してしまったウシウマや、種子島を治めていた種子島家の先祖が、平清盛のひ孫にあたる人だったとは知らなかった。また、鉄砲の伝来と同時期にたねばざみの技術が伝来していたことにおどろいた。種子島では砂鉄がたくさんとれていたため、刀やはさみなどの産業が発展していたことが分かった。鉄砲の伝来以外のこともくわしく知りたいと思った。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

種子島について調べていたが、実際に行ってみないと分からなかったことがたくさんあった。どんなことも実際に行ってみないと分からないことはたくさんあるので、これからいろいろなことにちょうせんしていきたいと思った。種子島は亜熱帯の植物など、飛島村には無いものがたくさんあった。また、種子島の人々は、みなさんととても優しく、地元の子ともすぐに仲良くなれた。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町と飛島村を比べてみて、たくさんのいいところを見つけることができた。飛島村と南種子町は、たくさん似ているところがあるなと感じた。種子島では、気候の厳しさが身に染みて分かったため、その点では飛島村はいいと思った。飛島村も南種子町のように、いろいろな店が増えたり、産業ができたりしたら、もっと飛島村もにぎわうのではないかと思った。

これが私の学び 研修テーマ「研修で分かったこと」

飛島学園6年生 加藤 結大

【広田遺跡】



広田遺跡で分かったことは2つある。1つ目は広田人は低身長ということだ。成人男性は154cmで、成人女性は142.8cmということが分かった。理由は遺伝子ということが分かり、びっくりした。日本列島の中でもこれほど身長の低い人々はめずらしく、広田人を始めとする琉球列島の先史時代人だけだということが分かりびっくりした。

【増田宇宙通信所】



増田宇宙通信所はSDGsに取り組んでいる。例えば社会のためにきが対策やまちづくり、節水などを目標としていて、ぼくは、宇宙でもSDGsに取り組んでいてすごいと思った。他にも、宇宙から二酸化炭素の量を見ることができ、海も中まで見えるものもあってびっくりした。ぼくは増田宇宙通信所は環境に配慮しているのだなと思った。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

ぼくは、種子島の研修に立候補し、作文や面接を経て合格することができた。そこから研修や表敬訪問をして、研修をして、本当は2泊3日が気候の影響で5泊6日になり、なかなかない経験をする事ができた。

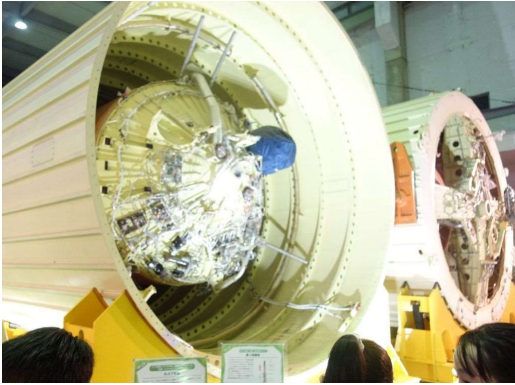
南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

ぼくの思う飛島村のよいところは農業だ。飛島村はねぎやほうれんそうがたくさんとれるが、種子島はさとうきびなど南でしかとれないものがあるのも知ったので実際に食べてみたい。さとうきびは研修中にたくさんあってびっくりした。

これが私の学び 研修テーマ「ロケットと鉄砲」

飛島学園6年生 小坂井 柚葵

【バスツアー】



私はバスツアーでロケットのことをたくさん学んだ。中でも特に心に残ったことは、断熱材は色が変わるということだ。最初の色は黄色だが、時間がたつにつれ、オレンジ色に変わることを知った。ロケットを運ぶドーリーという車についても知った。ドーリーの時速は2 kmで、1台で800tも支えられる。ドーリーには1台に約56個ものタイヤが付いていることも知り、とてもおどろいた。

【鉄砲館】



私は、鉄砲館で昔のことや鉄砲についてたくさん学んだ。中でも特に心に残っていることは、昔の人はウミガメを食べていたということだ。丸木船という主にトビウオ漁を行う船に乗って、今では食べることのできないウミガメを食べていたことにおどろいた。また、鉄砲を作っていた人は、それまで刀かじをやっていた人と聞き、びっくりした。そして、鉄砲を作ってくれたおかげで種子島を守ることができていたので、作った人はすごいなと思った。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

飛島村では見るできない自然を見ることができ、とてもうれしかったし、びっくりした。例えば千座の岩屋やマングローブ林などだ。また、種子島の昔から伝わる歴史や物を見られたので、とても勉強になった。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

飛島村には、港があり、工業が盛んだ。南種子町はあまり盛んではないけれど、砂浜はある。飛島村にはないため、あまり自然に関われない。だから、飛島村にももう少し自然と関われるようなスポットがあるといいと思った。

これが私の学び 研修テーマ「バスツアーと千座の岩屋」

飛島学園6年生 早川 帆南

【バスツアー】



私がバスツアーに参加して心に残ったことは2つある。1つ目は発射場のしき地が東京ディズニーランドの20倍の広さということだ。その広さでも、アメリカに比べればコンパクトなのだそうだ。2つ目はロケットの重さはほぼ燃料で、-196度のちっ素が入っているということだ。このように、宇宙科学博物館では宇宙について調べたことをさらにくわしく知ることができたのでよかった。

【千座の岩屋】



千座の岩屋に行っておどろいた。ちょうど干潮の時に、どうくつに入って中を見ることができた。すごく波が高かったけど、とってもきれいだった。私は、広いどうくつに入ったことがなかったので、とてもいい経験になった。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

私は、事前調べだけでは南種子町のよさが分らなかった。でも実際に来てみて、マングローブやさとうきび畑、鉄砲の伝来など、自然や歴史がとってもある町だと思った。さとうきびや赤米など飛島村にない物があって、とても勉強になった。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

飛島村にも、自然と歴史の博物館ができたらいいと思った。歴史などもっと飛島村のことを知ってほしいからだ。南種子町は風がとっても強いけど、飛島村は風が少ないから、飛島村の方がおだやかだと思った。

これが私の学び 研修テーマ「自然と人々のつながり」

飛島学園6年生 吉田 智咲

【千座の岩屋】



私たちが行ったときは大きな波が来ていて、ゆっくりとどうくつの中を見ることはできなかったけれども、短い時間の中で、初めて実際にどうくつを見たり感じたりすることができた。中は天井が低くなっていたのでしゃがんだり、暗くなっているところは明りをつけたり、波に乗って流れてきた流木に足をひっかけないように気をつけて歩いたりして、とても自然を感じることもできた。

【交流会】



平山小学校の1年生から中学1年生までの子供会の子たちと交流し、広田遺跡について学習したり、まが玉を一緒に作ったりして、仲良くなることができた。そして、3年生は1人しかいない話を聞くことができ、聞いたときはとてもびっくりした。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

最初は食べ物、とくに安納芋を食べたいと思っていた。種子島について調べていくにつれて、千座の岩屋に行ったり、種子島の子供たちと交流したり、南種子町と飛島村の文化や食べ物、自然の違いと共通点を見つけたりしたいと思うようになった。それらを達成することができて、とてもいい経験になった。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い!」と思ったこと

飛島村は老人の方々に優しい。南種子町は自然を大切にしていることが分かった。飛島村は同学年で1クラス20人以上いるから、体育の授業でチームを作ることができる。南種子町は1クラス5人以下しかいないけれども、その分自分のペースで学習することができる。



発行日:令和8年3月

飛島村～南種子町
ロケットロード研修報告書

- 発行:飛島村・飛島村教育委員会
- 発行部数:160部